
「小児もやもや病における血行再建術後の periventricular anastomosis の臨床的意義の解明」に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんの診療記録および検査データを用いた以下の研究を実施いたします。

本研究は、埼玉医科大学総合医療センター研究倫理委員会の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2011 年 1 月 1 日から 2021 年 6 月 30 日の期間に埼玉医科大学総合医療センターを受診し、もやもや病と診断され、外科的治療が行われた 16 歳以下の患者さんを対象としております。

2. 研究の目的

成人もやもや病では periventricular anastomosis が出血の危険因子と言われており、この periventricular anastomosis が血行再建術後に減少・消失することが注目されています。しかし、小児もやもや病での periventricular anastomosis の発生率、血行再建術後の反応性、長期予後に与える影響、は不明です。本研究は、この不明な点の多い小児もやもや病にみられる periventricular anastomosis に関して、その発生率、臨床像との関連、治療に対する反応性など明らかにすることを目的としています。

3. 研究期間

病院長の許可後～2024 年 12 月 31 日

4. 利用または提供の開始予定日

2023 年 12 月 07 日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学総合医療センターにおいて、研究責任者である大宅 宗一が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

もやもや病と診断された 16 歳以下の患者さんの外科的治療を実施した際に生じた検査データ

および診療記録等を用います。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

- ・ 埼玉医科大学総合医療センター 脳神経外科 大宅 宗一（研究代表者）
- ・ 埼玉医科大学総合医療センター 脳神経外科 齊藤 徹
- ・ 国立成育医療研究センター 脳神経外科 荻原 英樹
- ・ 埼玉県立小児医療センター 脳神経外科 栗原 淳

4. 試料・情報の管理責任者

試料・情報の授受を行う場合

- < 提供元機関 > 国立成育医療研究センター 病院長 笠原 群生
埼玉県立小児医療センター 病院長 岡 明
- < 提供先機関 > 埼玉医科大学総合医療センター 病院長 別所 好文

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。
ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学総合医療センター 脳神経外科 大宅 宗一

住所：〒350-8550 埼玉県川越市鴨田 1981

電話：049-228-3761（土日祝日を除く 8：30～17：30）

○研究課題名：小児もやもや病における血行再建術後の periventricular anastomosis の臨床的意義の解明

○研究責任（代表）者：埼玉医科大学総合医療センター 脳神経外科 大宅 宗一